

令和2年8月15日

(公財)日本水泳連盟

J O 実行委員長

鈴木 浩二

第43回(2020年度)全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
高等学校・中学校47都道府県通信水泳競技大会の記録集計方法の変更について
(お知らせ)

大会開催にあたり各方面よりご意見・ご質問等を頂戴し、できる限り対応させていただき反映してまいりました。この度、参加条件の緩和と記録集計方法の変更により、選手にとって有利で分かりやすい大会とすることを期して以下の点の見直しを行いました。

趣旨をご理解いただきますとともに、関係各方面への周知につきましてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 参加条件の緩和

中学生は全国中学、高校生は高校選手権の出場条件を、満たした者をそれぞれの大会出場としておりましたが、J Oと全国中学・高校選手権のうち、どちらか低い標準記録でエントリーしても、J Oと全国中学・高校選手権の双方への出場とします。

例： 春のJ Oにエントリーしていた選手や年齢区分でJ O標準記録を突破した選手で全国中学・高校選手権の標準記録に満たない選手でも中学・高校からの申し込みがあった場合は、J Oと全国中学・高校選手権の双方への出場とすることができる。

2 集計方法の変更

シンプルに、J Oの結果から中学生を抽出し中学の結果、高校生を抽出し高校の結果とします。中学・高校からの申し込みがあれば、J Oの出場条件を満たしている中学生は、「全国中学」のランキングに、高校生は「高校選手権」のランキングにそれぞれ反映いたします。

※ この変更に伴い、以前発出したQ&A第2集の一部を変更しました。詳しくはHPをご参照ください。